

特集  地域づくりマネージャー 竹村さん

# CAからみた“ふるさととやま”



地域づくりマネージャー

たけむら わかな  
竹村和香奈さん

富山県砺波市出身

大学卒業後、ANA(全日本空輸)に入社。客室乗務員(CA)として国内線/国際線に勤務。令和5年4月に「富山市地域づくりマネージャー」就任。

趣味…美味しいものを食べること、  
読書、ドラマ鑑賞

好きな国…ベトナム、フランス

富山市は、平成26年にANAグループと連携協定を締結し、市の魅力を発信するための様々な取り組みを実施しています。その一環として、ANAのCAが富山市(広報課)に「富山市地域づくりマネージャー」として駐在し、市の魅力発信やイメージアップを図るために活動しています。5代目の地域づくりマネージャーは、初の富山県出身者。この3月で2年の任期を終える竹村さんへのインタビューを掲載します。

岡広報課 ☎076-443-2018

## Q 5年ぶりに富山に戻ってきてどうでしたか？



赴任が決まったとき、最初に思ったのは「やったー！富山に帰れる！」でした。私はもともと地元が嫌になって出ていったというわけではなく、むしろANAの勤務中もうっかり方言が出てしまうほど(笑)、「富山」は自分にとっての大切なアイデンティティーでした。ただ、社会人になって国内外を巡ったり先輩CAから世界の都市の様々な特徴を伺ったりしている中で、富山のいろいろな側面を客観的に見るできるようになりました。正直に言うと富山の良さはまだまだ外の人に知られているとは言えず、「何があるの？そもそもどこにあるの？」などと言われ悔しい思いをしたことも一度や二度ではありません。こんなにいいところなのに！

そんな悔しい思いをバネにして、「地域づくりマネージャーになったからには、富山のために自分ができることをできるだけやってみたい」そう決意してこの地に降り立ったのが令和5年3月末。その日は雲一つない青空に雄大な稜線が映える最高の立山日和でした。そんな立山連峰に強く背中を押され、私の(あつという間の)2年間がスタートしたのでした。

# 竹村マネージャーの 多方面な活躍ぶり

地域づくりマネージャーのミッションは「市の魅力を市内外の方々に広く知ってもらうこと」。  
CAとしての国内外での経験を生かし、自ら前に立ってPRする一方、企画立案や資料作成などの  
裏方もこなしました。

竹村さんの様々な活動はこちらをご覧ください▶



## 市外に向かって魅力を発信

年間の活動のうち最も大きなものが、羽田空港でのスペシャルイベント。羽田空港の展望デッキで開催されたイベントでは、トークショーやオーケストラ演奏、地場産食材を使った試食会、物産販売などを通じて、5,000人を超える多くの方が様々な富山を満喫されていました。

竹村さんは企画、出演者交渉、予算管理、当日の進行管理など多岐にわたる業務に携わり、特に当日のトークショーでは、富山市出身の作家山内マリコさんや富山えごまPR大使のパークマンサーさんを相手に堂々とトークMCを務めました。



## 富山の人にも良さを伝える

市内に住んでいる人に富山の良さを改めて知ってもらうことも大切なミッション。特に「食」を通じて魅力を感じてもらうことを狙って市内で行ったイベントでは、ANA総料理長の清水誠<sup>しみずまこと</sup>シェフを招いた地場産食材メニューの実演会や寿司握りチャレンジなどの特別な体験を通じて、富山が実は「豊かで恵まれた場所」ということを広く発信しました。

## ANAで学んだホスピタリティを生かして

世界的にも高いホスピタリティ(おもてなしの心)を誇るANAでの経験を生かし市職員などを対象とした「おもてなし講座」「マナー講座」の講師も務めました。特に小中学生を対象とした講座では、世界に羽ばたく先輩として「目の前のことに全力で取り組むことが、夢の実現への一歩」などと優しく語りかけていました。



## Q 2年間で特に印象に残った経験は何でしたか？

PRするにはまずは自分が知らなければ！そう思って始めたのがブログ「CA、富山に帰るちゃ」です(※)。ブログでは身近なものから特別な体験まで、時には体当たりで取材しましたが、中でも印象深かったのが「ホタルイカ漁」です。代表的な名産として知っているつもりでしたが、実際の漁に同行させていただくことで、定置網の仕組みや作業の過酷さを身をもって体験し、改めて身近に食べられることへの感謝の想いが深まりました。

その日は時期一番の豊漁だったこともあり、お土産に袋いっぱいホタルイカをいただきました(深夜0時に集合した<sup>かい</sup>甲斐がありました！)。帰って眠気をこらえながら作ったホタルイカたっぷりの炊き込みご飯は、一生忘れられない味になりました。

(※)次のページにブログ記事の一部を掲載しています。



## ブログ「C A、富山に帰るちゃ」名シーン

竹村さんが様々な富山の「気になる！」を自ら取材して書き綴ったブログから名シーンの一部をご紹介します。

ここからチェック  
していただけると  
嬉しいです！



### スキー&かんじき体験

小学生ぶりのスキー体験に大興奮！「雪なんて迷惑」と思う方も多いかもしれませんが、雪と山を身近に楽しめるというのは世界的に見てもぜいたくなんですよ。初挑戦のかんじきで歩く山麓の森林にも癒されました〜💎



### 富山湾鮭に舌鼓

地元にも実はほとんど行ったことのなかった「回らないお寿司」。回転寿司も大好きですが、大将が丹精込めて握ってくれるお寿司はやっぱり格別！当日の漁によってオススメが変わるのも魚種の豊富な「すしのまちとやま」ならではの。



### 吹きガラスに挑戦

「ガラスの街とやま」のルーツが「富山のくすり」にあったと知ってビックリ！吹きガラス作り体験ではスタッフさんが優しく教えてくれて芸術的な器が完成(自画自賛！)。フルーツを入れるだけで高級感あふれるスイーツの完成です🍷



### ます寿しに迫る

全国的な知名度と人気を誇るます寿し。特別にます寿し作りを見学させていただき、その丁寧な仕事に圧倒されました。その後、広報課職員で銘柄を隠して行った食べ比べでは見事に好みがバラバラ(仲はいいんですよ)。ちなみに私はレア感の高います寿しが好みます。

まだまだたくさん！番外編を含めて20以上の記事を掲載しています

- 🍣 沖釣りしたら見事に起承転結になったお話
- 🍣 サウナつきグランピングで非日常を味わう
- 🍣 秘境大長谷でキノコ狩り！果たしてキノコは見つかるのか
- 🍣 葉膳のイメージが変わる！食べておいしい「富山やくぜん」
- 🍣 16年ぶりに立山登山に挑んだらいろんな感情がわいてきた
- 🍣 昆布消費額日本一！富山の昆布文化事情

etc...



## Q 活動を振り返っていかがですか？

赴任当初は戸惑いの連続でしたが、上司や仲間の助けもあって自分のできることは精一杯やりきった気持ちです。特に2年目からは街で声を掛けていただいたり、私のブログを見て富山を訪れてくださる方がおられたりと、手ごたえを感じられることが多くなりました。羽田空港のイベントにも沢山の方にお越しいただきその後ANAの同僚たちが富山市を訪問するなど、魅力発信の一助を担えたのではないかと思います。

心残りがあるとすれば、市内にお住まいの方がまだまだ地元の魅力に気づいていないと感じることです(私自身もそうでした)。改めて外からの視点で見ると実は富山は宝物でいっぱいです。ぜひ自信をもって愛を叫んでください！(よければ私のブログも参考にしてくださいね)

## Q これからの富山市に必要なものは何だと思いますか？

難しい質問ですね(笑)ただ、私自身、富山に対する印象が、学生時代と社会人になってからとで違って、もちろん「好き」なのですが、今は「富山が嫌だ」と出ていく若者の気持ちも少し分かる気がするんです。若い人は束縛や干渉を嫌う傾向があるので、もしかしたら富山人の美德でもある「真面目さ」や「堅実さ」を、窮屈に感じる人もいるのかもしれない。

また、「都会と比べて何もない」と決めつけてしまうのも実はそのような真面目さからくるのかな、と思うことがあります。

若い人達に「住み続けてもいいかも」「帰ってきてもいいかも」と思ってもらえるためにも、まずは富山の人が地元を良く知って、それを次世代に伝えつつ、“やわやわ”と見守るというのがちょうどいいのかもしれない。

### 竹村さんから富山の皆さんへメッセージ

私は食べるのが大好きで、ちょっとずつ市内の美味しいお店を巡っていましたが、行きたいところはまだまだたくさんあるので、ちょくちょく帰ってくるつもりです。客室乗務員に戻っても“自称”富山市PR大使として、食べ物に限らず私の富山のお気に入りをお僚などに広めたいと思っています。もし空でお会いしたら「また富山に帰ってこられ〜」とお声がけください!! 2年間ありがとうございました😊

Good Luck !!

竹村 和香奈

